

姿勢矯正 IoT アプリケーションの研究・開発・販売 (宮城県スタートアップ加速化支援事業) 株式会社weCAN (ウィーキャン)

事業概要

当社は、東北大学医学部や工学部との産学連携による研究成果をもとに生み出した、姿勢矯正 IoT アプリケーション「メガネ型ウェアラブル端末」により新たな産業の創出を目指し、令和2年10月に法人化しました。

創業にあたり、スタートアップを円滑かつ迅速に行うため、[宮城県スタートアップ加速化支援事業](#)「AI・IoT 枠」を活用し、適切な姿勢に関する意識付けと習慣化を支援するための製品の開発を行いました。その一環として、利用者の端末に姿勢データの送信、過去の姿勢データの記録・管理に係る AI・IoT 技術の開発も行いました。

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大対策として在宅勤務やテレワーク等が普及したことにより急速に行動変容が進み、ノートパソコンやスマートフォン等の情報機器の使用頻度が増加しています。そのような中で、従来であればレントゲンなどの病院に備え付けられた装置で瞬間的にしか計測できなかった背骨の形状を、当社が開発した「メガネ型ウェアラブル端末」を使用すると経時的な変化も含めてリアルタイムに背骨の形状を推定することができます。本端末は、3軸加速度センサによる頭部の傾きを検知するとともに距離センサで取得した視距離の二つの値から背骨の形状を推定し、医学的根拠に基づく不良姿勢を検知し、利用者が自立的に良好な姿勢をとるよう促すものです。

これまで、東北大学との共同研究によって明らかになった革新的技術の特許出願を行いました。

現在は、試供品の配布先の調整や販売に向け、地元企業と連携し量産体制の構築を進めています。

また、利用による効果が背骨以外に、健康眼精疲労の解消や近視のリスク軽減などにもおよぶことが考えられ、その医学的根拠も検証中です。今後も「わかがえりの靴」や「快眠寝姿勢まくら」など、新たな健康志向商品の開発に取り組んでいきます。

企業の声

[宮城県スタートアップ加速化支援事業](#)による補助を活用することによって、一学生の構想レベルであった事業を、あと一步で事業化できる段階まで大きく進めることができました。

[みやぎ産業振興機構](#)には地元の企業との連携や人材紹介まで、手厚くサポートしていただきました。

企業概要

代表者 : 代表取締役社長 高橋 佑生

住所 : 宮城県仙台市青葉区北目町4番7
HSGビル7階

電話 : 022-721-2035

E-mail : takahashi@we-can.co.jp

URL : <https://startup.tohoku.ac.jp/achievement-we-can/>

業種 : 電子部品・デバイス・電子回路製造業

主要製品 : [背骨形状測定デバイス「背骨計」](#)



「背骨計」研究・開発版

宮城県スタートアップ加速化支援事業は、創業又は第二創業する中小企業者に対し、スタートアップ資金を補助し、商工会・商工会議所と連携して創業を支援する事業です。